

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ちあふるスクール宮之阪		
○保護者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数) 28
○従業者評価実施期間	2025年12月1日		～ 2026年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年4月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ICT機器を使用してプログラミングやプログラミング的思考が学べる個別療育	1人1台パソコンを使用できる環境を整備しており、パソコンに初めて触れるお子様でも、基礎から安心して挑戦できるよう支援しています また、3Dプリンターを活用した活動も取り入れ、楽しみながら空間認識力や創造力の向上につながる機会を設けています。	お子様一人ひとりの特性や興味に合わせた活動を提案できるように、既存のプログラムに加えて新しい教材や活動内容の検討を行い、職員間で日々情報共有をしながら支援の充実に努めています。
2	お子様に合わせた療育プログラム	お子様それぞれの特性や発達段階に合わせた活動内容を設定し、指導員が1人1人サポートすることで、達成感や成功体験を積み重ねられるよう支援しています。 また、ICT機器の活用だけでなく、手先の巧緻性を育む知育玩具なども取り入れ、日常生活動作の向上につながる活動を幅広く用意しています。	お子様の得意なことや興味を大切にしながら、苦手なことには寄り添った活動プログラム作りをしています。興味関心を活かした取り組みを通して、安心して挑戦を続けられる環境づくりに取り組んでいます。
3	個別活動プログラムと集団活動プログラムの併用	お子様や保護者様のご意向に合わせ、個別プログラムと集団プログラムを用意し、お子さんに合わせた活動を行っています。 また、活動の中で指導員が仲立ちとなり、少人数での交流の機会を設けています。少人数から段階的に関わる経験を重ねることで、コミュニケーションに苦手さのあるお子様にも関わる機会を広げ、学校や幼稚園・保育園などの集団生活を過ごしやすい方法を見つけることができるようサポートしています。 月ごとの行事や長期休暇には、集団で楽しめるレクリエーション活動にも取り組み、個別プログラムと集団プログラムの両方に取り組んでいます。	個別活動を基本としながら、平日の集団活動では無理なく参加できるように、短時間で取り組みやすい内容を提案し、安心して経験を積める機会を設けています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流の場が少ない	今後課外活動を行うことが決まっているため、その際に地域での活動や交流の機会を設けます。	地域との交流やお子さんの学びの機会になるように課外活動の内容を提案していきます。
2	活動スペースが狭く感じることもある	レクリエーションなどの全体活動を行う際には、机を移動するなどして活動スペースが十分にとれるようにしています。	机だけではなく、必要に応じて部屋全体の配置変更も行っていきます。
3	学校や幼稚園保育園と連携をとる機会が少ない	保護者様を通しての形で連携をとるようにしています。	普段の生活のなかでの様子などについては、保護者様のお話からしか聞く機会がないため、円滑な支援ができるよう必要に応じて学校や幼稚園保育園とも連携をとっていきます。